

令和 7 年度事業報告書

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 31 日

社会福祉法人 若槻ホーム

介 護 老 人 福 祉 施 設 事 業
地 域 密 着 型 介 護 老 人 福 祉 施 設 事 業
短 期（介 護 予 防 短 期）入 所 者 生 活 介 護
通 所（介 護 予 防 通 所）介 護 事 業
居 宅 介 護（介 護 予 防）支 援 事 業
長 野 市 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー

I. 経営理念 『感動を呼ぶホームを目指そう』

- II. 基本方針
- 1 人間尊重
 - 2 衆知を集めた経営
 - 3 一級の社会人

III. 中期計画（令和6年度～令和8年度）

1. スローガン
「相手を思いやる心優しい介護の実践」

2. 中期方針（目標）
「地域に開かれた福祉の拠点づくり」

3. 重点事項

(1) 介護報酬改定への対応

- ① 医療と介護の連携推進
- ② 多職種連携と一体的なサービス提供の取り組みとライフの活用
- ③ 感染症や災害への対応力強化と業務継続計画の見直し
- ④ 地域包括ケアの推進

(2) 安定経営に向けて

- ① 介護職員等の処遇改善
- ② 介護ロボットやICT等を活用した働きやすい職場環境作り
- ③ 外部機関と連携し、切れ目のないサービス提供の実施
- ④ 人材育成と採用強化

(3) 組織改革による事業内容見直し

- ① 会議、委員会活動の充実
- ② 職員の資質向上を目指した研修の実施
- ③ 感染対策を徹底し、地域に開かれた拠点を目指す

～部 署 別 事 業 報 告～

I 法人関係

1 重点事項実績

(1) 安定した介護人材確保に向けた処遇改善の支給

① 介護人材確保・職場環境改善等事業の活用(長野県補助事業)

補助金収入額 2,957,725 円

支払総額 2,965,000 円(令和7年7月支払)

支払内訳 介護士 25,000 円～51,000 円

その他職員 10,000 円～30,000 円

② 処遇改善加算(R7/6～R8/5 見込)

加算総収入額 50,500,000 円 (R7 年度 50,420,000 円)

支払総額 51,300,000 円

内訳 : 処遇改善手当支払額 23,300,000 円

(支払内訳: 技能経験介護士 48,000 円/月 その他介護士 25,600 円～28,000 円/月

看護・相談員・看護師・事務 8,000 円～16,000 円/月)

昇給、社会保険総額 28,000,000 円)

(2) 福祉の職場説明会等求人活動

① ハローワーク・長野県社会福祉協議会主催の「福祉の職場説明会」への出席 2 回/年

② 令和7年度退職者数 5 名 採用者数 8 名

(3) 提案活動

① 提案件数 328 件

② 効果金額 1,009,755 円

(4) 労働量確保

① 60 歳以上の雇用者数 10 名(男性 3 名 女性 7 名)

② 無資格者の雇用について 令和7年度 0 人

(5) 運営規程および重要事項説明書をホームページ上に公表しています

2 研修実績

(1) 内部研修

日時	研修テーマ	実施内容	参加部署	参加人数(介護士)
4 月 1 日	全体研修	1.組織について 2.事業計画 3.経営状況説明	全部署	52 名(23 名)
4 月 1 日	身体拘束及び高齢者虐待防止に関する研修	1.身体拘束について 2.身体拘束廃止に向けた考え方 3.高齢者虐待について	全部署	52 名(23 名)
5 月 12 日	事故発生防止研修(本館)	1.福祉サービスの理念とリスクマネジメント 2.事故・過誤が発生するメカニズム 3.事実を正確に伝える	本館職員	

5 月 12 日	事故発生防止研修 (別館)	1.介護事故とは 2.ヒヤリハットについて 3.職員との信頼関係	別館職員	18 名(11 名)
6 月 12 日	感染症・食事研修 (別館)	1.感染対策 YouTube 視聴 2.スムーズグルメセット試食	別館職員	19 名(12 名)
6 月 27 日	SNS・スマホ・個人情報	1.情報化社会について 2.情報漏洩対策 3.初動対策	全部署	30 名(8 名)
7 月 10 日	感染症・食事研修 (本館)	1.YouTube 視聴 演習 2.消毒・手洗い等	本館職員	22 名(16 名)
7 月 14 日	認知症ケア研修 (別館)	1.ご家族の話を伺う	別館職員	20 名(13 名)
8 月 7 日	口腔ケア研修(別館)	1.スポンジブラシ YouTube 視聴	別館職員	17 名(10 名)
8 月 7 日	担架(別館)	1.担架について	別館職員	17 名(10 名)
8 月 8 日	口腔ケア研修(本館)	1.スポンジブラシ YouTube 視聴	本館職員	13 名(10 名)
8 月 26 日	セルフケア研修会	1.介護現場の感情労働 2.ストレスのセルフケア 3.各相談窓口	全部署	26 名(11 名)
9 月 10 日	看取りケア研修 (本館)	1.人生会議について 2.もしばなゲーム	本館職員	17 名(11 名)
10 月 1 日	全体研修	1.10 年勤続表彰(対象者 8 名) 2.新規採用者紹介 3.統括のお話	全部署	35 名(7 名)
10 月 1 日	ハラスメント研修	1.令和 5 年度研修復習 2.指針	全部署	35 名(7 名)
10 月 9 日	看取りケア研修 (別館)	1.アンケートについて 2.グループワーク	本館職員	22 名(14 名)
11 月 10 日	感染症対策研修 (本館)	1.コロナウィルス感染症 2.結核	本館職員	20 名(12 名)
11 月 13 日	感染症対策研修 (別館)	1.コロナウィルス感染症 2.結核	別館職員	20 名(13 名)
12 月 10 日	身体拘束・虐待研修 (本館)	1.虐待の芽チェックリスト	本館職員	17 名(11 名)
1 月 8 日	認知症ケア・事故発生 防止研修(別館)	1.介護事故の定義他 2.事例検討	別館職員	18 名(12 名)
1 月 13 日	事故発生防止研修 (本館)	1.認知症の基礎知識 2.事故防止活動他	本館職員	17 名(11 名)

2 月	褥瘡予防研修(本館)	1.知識と気づき 2.実践テクニック	本館職員	
2 月	褥瘡予防研修(別館)	1.知識と気づき 2.実践テクニック	別館職員	
2 月 9 日	身体拘束・虐待研修 (別館)	1.身体拘束・虐待の基礎他 2.グループワーク	別館職員	18 名(10 名)
3 月 10 日	口腔ケア研修(本館)	1.口腔ケアの準備 2.ポジショニング 3.手順他	本館職員	19 名(12 名)
3 月 12 日	口腔ケア研修(別館)	1.口腔ケア表 2.カンファレンス	別館職員	18 名(12 名)
3 月 10 日	虐待の芽チェックリスト	1.虐待の芽チェックリスト集計 2.講評	本館職員	19 名(12 名)

(2) 外部研修

日時	研修テーマ	主催団体名	参加人数
4 月 17 日	新入社員研修	長野信用金庫	1 名
5 月 28 日	介護、障害福祉現場での生産性向上 ビギナーズセミナー	介護労働安定センター	2 名
7 月 8 日	医療と介護の連携推進セミナー	長野市民病院	2 名
7 月 23 日	介護労働者雇用管理者講習	介護労働安定センター	1 名
9 月 16 日	データ活用で進める業務連携	介護労働安定センター	1 名
9 月 30 日	福祉職員生涯研修	長野県社会福祉協議会	1 名
10 月 1 日	チームリーダー課程		
10 月 3 日	市町村職員等高齢者虐待対応力強化	長野県	1 名
10 月 17 日	認知症利用者のリスクマネジメント	あいおいニッセイ同和損保	1 名
10 月 22 日	信州エルダーフォーラム	高齢・障害・求職者雇用支援機構	1 名
10 月 22 日	職員接遇研修	長野県高齢者事業協会	1 名
11 月 18 日	職場のリーダーに求められる統率力の 向上	介護労働安定センター	1 名
12 月 16 日	福祉職員生涯研修 新任職員課程	長野県社会福祉協議会	2 名
2 月 4・5 日	福祉職員生涯研修 中堅職員課程	長野県社会福祉協議会	2 名

2 特別養護老人ホーム若槻ホーム(利用者定員 60名)

1 重点事項実績

- (1) 医療機関と連携を図るため、協力医療機関との連携協定締結
 - ・長野市民病院 令和7年4月1日～
 - ・宮沢医院 令和7年6月1日～
- (2) 栄養ケア計画の作成とモニタリングの実施
- (3) 釜田歯科医院と協力し口腔衛生の管理体制整備を継続
- (4) 本館特養連絡会議を月/1回実施し、生産性向上に向けた課題・業務の整理を実施
生産性向上推進体制加算Ⅱ算定
- (5) 生産性向上ビギナーズセミナー参加 主催 介護労働安定センター
- (6) 見守りセンサー「眠りスキャン」 デモ導入 9月3日～9月10日 導入については未定
- (7) 季節に合わせた食事、行事食、手作りおやつを提供

2 新規入所者状況

No.	入所日	年齢	性別	介護度	入所前住居形態
1	4月15日	75歳	女性	4	老健
2	4月30日	80歳	男性	5	有料老人ホーム
3	5月26日	97歳	女性	3	老健
4	7月9日	84歳	男性	4	有料老人ホーム
5	7月28日	82歳	男性	4	老健
6	8月1日	98歳	女性	4	グループホーム
7	8月26日	76歳	男性	5	病院
8	8月27日	77歳	女性	4	自宅
9	10月1日	75歳	女性	4	病院
10	12月4日	86歳	女性	4	病院
11	12月16日	97歳	女性	4	病院
12	12月23日	76歳	男性	5	有料老人ホーム
13	1月7日	95歳	女性	4	病院
14	1月15日	86歳	女性	5	病院
15	1月19日	68歳	男性	3	病院
16	2月9日	99歳	女性	4	老健
17	2月24日	82歳	女性	5	病院
18	3月23日	77歳	男性	5	自宅
19	3月24日	101歳	男性	5	有料老人ホーム
合計	19名	① 最高年齢 101歳 ② 最低年齢 68歳 ③ 平均年齢 84.7歳 ④ 平均介護度 4.2			

3 退所者の状況

No.	退所日	年齢	性別	介護度	入所期間
1	4月22日	89歳	男性	5	6ヵ月
2	5月8日	105歳	男性	4	6ヵ月
3	6月20日	80歳	男性	4	11ヵ月
4	6月26日	93歳	女性	5	4年8ヵ月
5	8月3日	91歳	女性	4	6年4ヵ月
6	8月14日	80歳	男性	5	4ヵ月
7	8月18日	69歳	男性	3	2年6ヵ月
8	10月28日	96歳	女性	4	5年4ヵ月
9	11月30日	95歳	女性	5	3年1ヵ月
10	12月2日	96歳	女性	5	5年2ヵ月
11	12月9日	92歳	女性	5	1年10ヵ月
12	12月24日	89歳	女性	4	11年7ヵ月
13	1月1日	86歳	男性	5	11ヵ月
14	1月8日	76歳	男性	5	2週間
15	1月28日	95歳	女性	4	3週間
16	2月14日	98歳	女性	4	1年
17	3月8日	98歳	女性	5	2年9ヵ月
18	3月20日	98歳	男性	3	2年
19	3月22日	87歳	女性	4	3ヵ月
合計	19名	①最高年齢 105歳 ②最低年齢 69歳 ③平均年齢 90.1歳 ④平均介護度 4.3 ⑤平均入所期間 2年7ヵ月			

4 要介護度・年齢別利用者数(令和8年3月31日現在)

年齢	性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
60歳～74歳	男	0	0	1	1	0	2
	女	0	0	0	0	1	1
75歳～89歳	男	0	0	2	3	4	9
	女	1	1	1	16	6	25
90歳以上	男	0	0	1	2	2	5
	女	0	0	5	8	4	17
合計	男	0	0	4	6	6	16
	女	1	1	6	24	11	43
	合計	1	1	10	30	17	59

(1)最高年齢 男性 101歳 女性 99歳
 (2)最低年齢者 男性 68歳 女性 73歳
 (3)平均年齢 男性 84.3歳 女性 88.7歳 全体 87.5歳

5 月別利用状況

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	稼働率
4 月	0	30	346	796	592	1,764	98.0%
5 月	0	31	378	806	620	1,835	98.7%
6 月	0	30	360	810	586	1,786	99.2%
7 月	31	31	372	809	578	1,821	97.9%
8 月	31	31	359	869	533	1,823	98.0%
9 月	30	30	330	870	516	1,776	98.7%
10 月	31	31	341	927	527	1,857	99.8%
11 月	30	30	280	900	510	1,750	967.2%
12 月	31	31	310	938	514	1,824	98.1%
1 月	31	31	323	944	491	1,820	97.8%
2 月	28	28	308	846	453	1,663	99.0%
3 月	31	31	330	920	501	1,813	967.5%
合計	274	365	4037	10435	6421	21,532	98.3%

＊令和 6 年度稼働率 98.9%

6 行事・イベント等

4 月	お花見外出、希望外出	10 月	希望外出、不在者投票、防災訓練
5 月	餃子パーティー、希望外出	11 月	希望外出、海鮮丼パーティー
6 月	お好み焼きパーティー、希望外出、 野菜を植える会、防災訓練	12 月	しめ縄、餅つき、クリスマス会、希望外出
7 月	希望外出	1 月	新年会、希望外出
8 月	希望外出、迎え火、送り火	2 月	節分会、希望外出
9 月	物故者法要、田中区獅子舞、敬老会	3 月	希望外出、やしょうまおやつ会

Ⅲ 地域密着型介護老人福祉施設若槻ホーム別館 利用者定員 29 名(3 ユニット)

1 重点事項実績

- (1) 医療機関と連携を図るため、協力医療機関との連携協定締結
 - ・長野市民病院 令和 7 年 4 月 1 日～
 - ・宮沢医院 令和 7 年 6 月 1 日～
- (2) 栄養ケア計画の作成とモニタリングの実施
- (3) 釜田歯科医院と協力し口腔衛生の管理体制整備を継続
- (4) 生産性向上検討員会を月/1 回実施し、生産性向上に向けた課題・業務の整理を実施
- (5) 「始めよう 生産性向上に関する取り組み」研修参加 介護労働安定センター主催
- (6) ユニット会議において入居者の身体機能、生活状況について検討し、個別ケアを実施

2 新規入所者の状況

No.	入所日	年齢	性別	介護度	入所前住居形態
1	5 月 14 日	95 歳	男性	4	自宅
2	6 月 19 日	94 歳	女性	4	有料老人ホーム
3	9 月 24 日	93 歳	女性	4	自宅
4	10 月 6 日	92 歳	男性	4	有料老人ホーム
5	11 月 10 日	93 歳	女性	4	老健
6	12 月 1 日	92 歳	女性	4	自宅
7	12 月 19 日	98 歳	女性	3	自宅
8	2 月 5 日	81 歳	女性	4	老健
9	2 月 24 日	95 歳	男性	4	病院
10	3 月 13 日	86 歳	男性	5	病院
11	3 月 18 日	94 歳	女性	4	有料老人ホーム
合計	11 名	① 最高年齢 98 歳 ② 最低年齢 81 歳 ③ 平均年齢 92.1 歳 ④ 平均介護度 4.0			

3 退所者の状況

No.	退所日	年齢	性別	介護度	入所期間
1	4 月 30 日	93 歳	男性	4	3 ヶ月
2	6 月 9 日	97 歳	女性	5	3 ヶ月
3	8 月 31 日	98 歳	女性	5	9 年 4 ヶ月
4	9 月 6 日	100 歳	女性	4	2 年 8 ヶ月
5	9 月 17 日	96 歳	女性	4	8 年 3 ヶ月
6	11 月 7 日	93 歳	女性	5	2 年 3 ヶ月
7	11 月 8 日	93 歳	男性	4	1 ヶ月
8	12 月 14 日	93 歳	女性	4	2 年 5 ヶ月
9	1 月 11 日	101 歳	女性	4	5 年 3 ヶ月
10	2 月 15 日	80 歳	女性	4	6 年 8 ヶ月

11	2月27日	98歳	女性	3	2ヵ月
12	2月28日	82歳	女性	5	2年3ヵ月
13	3月26日	93歳	女性	4	4ヵ月
合計	13名	① 最高年齢 101歳 ② 最低年齢 80歳 ③ 平均年齢 93.6歳 ④ 平均介護度 4.2 ⑤ 平均入所期間 3年1ヵ月			

4 要介護度・年齢別利用者数(令和8年3月31日現在)

年齢	性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
60歳～74歳	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0
75歳～89歳	男	0	0	0	1	1	2
	女	0	0	1	4	2	7
90歳以上	男	0	0	0	2	0	2
	女	0	0	1	9	6	16
合計	男	0	0	0	3	1	4
	女	0	0	2	13	8	23
	合計	0	0	2	16	9	27

- (1)最高年齢者 男性 96歳 女性 97歳
 (2)最低年齢者 男性 75歳 女性 82歳
 (3)平均年齢 男性 88歳 女性 92歳 全体 90歳

5 月別利用状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	稼働率
4月	0	0	90	510	270	870	100%
5月	0	0	93	507	279	879	97.8%
6月	0	0	102	500	249	851	97.8%
7月	0	0	93	516	279	888	98.8%
8月	0	0	93	446	341	880	97.9%
9月	0	0	90	420	300	810	93.1%
10月	0	0	93	449	310	852	94.7%
11月	0	0	90	449	277	816	93.8%
12月	0	0	75	510	279	864	96.1%
1月	0	0	93	461	264	818	91.0%
2月	0	0	83	436	252	771	95.0%
3月	0	0	62	505	267	834	92.8%
合計	0	0	1,057	5,709	3,367	10,133	95.7%

6 行事・イベント等

4月	お花見	10月	善光寺外出、不在者投票、防災訓練
5月	母の日	11月	のど自慢大会
6月	運動会、善光寺外出、防災訓練	12月	クリスマス会
7月	夏祭り	1月	新年会
8月	スイカ割り、迎え火、送り火	2月	節分、不在者投票
9月	物故者法要、敬老会、善光寺外出	3月	ひな祭り喫茶

7 運営推進会議の開催状況

開催回数	開催日	参加人数	内容
第1回	5月20日	4名	運営推進会議の説明 若槻ホーム別館施設見学
第2回	7月29日	4名	利用状況について 避難訓練・防災計画について
第3回	9月30日	4名	利用状況について 利用料金について 居住費・負担割合の変更点について
第4回	11月25日	4名	利用状況について 施設での看取り介護について
第5回	1月27日	4名	利用状況について 高齢者の健康管理について
第6回	3月17日	5名	令和7年度の利用状況のまとめ

Ⅳ 短期入所生活介護若槻ホーム別館(定員 9名)

1 月別延利用者数及び稼働率の状況

月	実人数	要介護度						合計	稼働率
	利用回数	1	2	3	4	5	要支援		
4	実人数	9	8	9	3	2	3	34	82.2%
	利用回数	63	64	47	27	6	15	222	
5	実人数	9	9	5	3	2	4	32	73.8%
	利用回数	63	59	37	23	6	18	206	
6	実人数	7	9	6	4	3	3	32	70.0%
	利用回数	47	44	38	29	17	15	190	
7	実人数	10	10	2	5	3	3	33	67.0%
	利用回数	44	46	16	43	23	15	187	
8	実人数	9	12	8	4	3	2	38	86.7%
	利用回数	46	59	50	41	34	12	242	
9	実人数	10	8	6	4	3	3	34	88.0%
	利用回数	57	54	40	43	29	15	238	
10	実人数	8	9	7	4	3	3	34	88.5%
	利用回数	53	65	35	40	35	19	247	
11	実人数	10	6	6	6	3	3	34	91.5%
	利用回数	52	29	53	61	36	16	247	
12	実人数	11	7	5	3	3	2	31	88.9%
	利用回数	67	34	41	50	43	13	248	
1	実人数	9	7	3	4	3	6	32	93.9%
	利用回数	64	54	14	63	33	34	262	
2	実人数	8	8	2	6	3	1	28	94.8%
	利用回数	55	52	15	75	38	4	239	
3	実人数	7	9	3	6	3	1	29	92.8%
	利用回数	53	54	26	78	40	8	259	
合計	延利用回数	664	614	412	573	340	184	2,787	84.8

＊令和6年度稼働率 83.7%

V 若槻ホームデイサービスセンター(定員 30 名)

1 重点事項実績

(1) 機能訓練の一環として、通信機器によるテレビ体操を活用し複数のプログラムを作成(ごぼう先生をはじめ、リズム体操、ストレッチ体操など)し飽きのこない体操を提供

(2) インスタグラムにて活動状況を月 2 回程度投稿

(3) 個別活動の充実を目指し、麻雀・お花・野菜の栽培・カラオケ等、ご本人の希望に沿った活動の提供

(4) 各種講座・ボランティア活動

音楽療法 月 1 回実施

大正琴ボランティア 年 2 回実施

(5) アンケート調査の実施(希望外出調査)

お花見外出、善光寺外出、二葉堂・りんごの木へスイーツ外出、小布施ハイウェイオアシス・公園への散策

(6) 研修実施状況

4 月	運転講習会	10 月	倫理・法令遵守
5 月	接遇マナー	11 月	感染症予防・BCP
6 月	認知症ケア	12 月	虐待・身体拘束防止
7 月	食中毒予防	1 月	接遇マナー
8 月	口腔ケア	2 月	褥瘡予防
9 月	入浴介助技術	3 月	事故防止

2 月別・要介護度別利用状況

月	稼働 日数	実人数	要介護度						合計	稼働率
		利用回数	1	2	3	4	5	要支援		
4	26	実人数	22	10	9	6	0	18	65	66.7%
		利用回数	217	88	57	42	0	115	519	
5	27	実人数	23	13	10	5	1	18	70	70.0%
		利用回数	220	117	67	32	7	121	564	
6	25	実人数	24	12	7	7	1	17	68	67.9%
		利用回数	195	106	54	32	7	115	509	
7	27	実人数	22	13	9	8	1	17	70	69.2%
		利用回数	194	117	75	42	7	125	560	
8	27	実人数	19	11	9	7	1	18	65	60.7%
		利用回数	161	92	75	38	9	117	492	
9	25	実人数	19	10	9	8	1	18	65	64.2%
		利用回数	175	76	89	38	1	122	501	
10	27	実人数	19	9	9	7	2	19	65	63.8%
		利用回数	173	76	95	35	12	126	517	
11	26	実人数	18	7	10	6	2	18	61	53.8%
		利用回数	142	54	80	27	13	104	420	

12	24	実人数	20	7	10	6	2	20	65	64.5%
		利用回数	171	52	92	34	14	121	484	
1	24	実人数	20	8	8	6	2	21	65	65.1%
		利用回数	176	51	67	34	15	126	469	
2	24	実人数	21	8	9	6	2	18	64	69.2%
		利用回数	188	54	94	35	11	116	498	
3	26	実人数	23	8	9	6	2	19	67	70.5%
		利用回数	218	62	90	34	13	133	550	
合 計	308	延利用 回数	2,230	945	935	423	109	1,441	6,083	65.8%

*令和6年度稼働率 72.1%

: 11月28・29日 新型コロナウイルス感染拡大のため休業

VI 若槻ホームケアプランセンター(居宅介護支援事業)

1 重点事項実績

- (1)情報共有会議を毎週開催し、事例検討、サービス内容等の情報交換を実施
- (2)サボン(提供票送信ソフト)を導入し、業務の効率化・事務負担の軽減を図りました
- (3)質の高いケアマネジメント実施のため研修企画、外部研修へ参加を行いました。

	研修名	日時	参加人数
1	居宅介護支援事業所合同会議	4月25日	1名
2	神経難病への呼吸ケア・リハビリテーション研修報告	7月17日	1名
3	居宅介護支援事業所合同研修会「地域の防災力をアップしよう」	7月8日	6名
4	ケアマネージャーとして知っておきたい障害者とのかかわり方	8月28日	6名
5	長野市薬剤師会 多職種連携研修	9月29日	2名
6	長野市民病院 多職種連携研修	10月10日	2名
7	脊髄小脳変性症・多系統萎縮症の症状を治療について	10月27日	2名
8	身寄りのない高齢者等への対応に係る情報会議	10月30日	1名
9	ヤングケアラーの状況	11月5日	4名
10	パーキンソン病の症状と治療について	11月12日	2名

2 月別介護計画(ケアプラン)作成件数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	支援	合計
4月	97	39	22	19	5	1	183
5月	98	44	18	20	7	1	188
6月	99	40	20	23	9	1	192
7月	100	39	20	20	9	1	189
8月	100	37	24	20	8	0	189
9月	99	41	25	24	6	0	195
10月	98	38	24	26	7	0	193
11月	94	38	23	25	8	0	188
12月	98	34	25	24	9	0	190
1月	96	33	23	22	9	1	184
2月	92	29	26	20	8	2	177
3月	96	30	22	19	10	2	179
合計	1,167	442	272	262	95	9	2,247

- (1) 介護支援専門員者数 6名

*令和6年度 1,995件

- (2) 月平均作成件数 187件

- (3) 平均担当件数 31件 / 介護支援専門員1名

VII 長野市地域包括支援センター若槻ホーム(長野市委託事業・介護予防居宅介護支援事業)

1 地域ケア会議、地域活動の実施状況

地域課題の解決とともに地域包括ケア推進のため、住民自治組織、行政機関との連携を強化しました。

日時	内容	備考
5月10日	福祉健康部全体研修会	若槻住自協
5月21日	東徳間地区 春の健康教室	参加者 18名
6月11日	自立支援ケア会議	参加者:若槻地区 介護支援専門員 10名
6月19日	ぴっかり教室 ～男性介護者のつどい～	参加者 8名
9月7日	若槻団地健康講座 お茶のみサロン	参加者 25名
9月18日	介護のつどい 一足先に認知症になった私たちが地域の人に伝えたいこと 講師:若年性認知症当事者 三村様 進行:若年性認知症支援コーディネーター伝田様	参加者 42名
9月28日	親・祖父母の介護をしている方・考えている方のための ～ほっとひといきカフェ～	参加者 11名
10月15日	田中区 認知症サポーター養成講座	参加者 10名
10月19日	第8回若槻総フェスタ 出店:ウェルシア様共催健康コーナー (骨強度測定・健康相談) 焼きマシュマロ・珈琲	骨強度測定 72名参加
11月11日	ぴっかり教室 ～男性介護者のつどい～	参加者 6名
11月12日	若槻地区介護支援専門員連絡会 身寄りのない方への支援について ～「おひとりさま」あんしんサポート相談室の取り組みと ケアマネージャーとの連携～ 講師:社会福祉法人 長野市社会福祉協議会 相談支援課 長野権利擁護センター 「おひとりさま」安心サポート相談室 森田 靖子様	参加者:居宅介護支援事業所・薬局 16名
12月10日	東徳間地区 介護者教室 ～誤嚥性肺炎・歯と口の健康について～	参加者 11名
12月14日	親・祖父母の介護をしている方・考えている方のための ～ほっとひといきカフェ～	参加者 5名
2月8日	若槻地区福祉大会 ①グループ討議 ～認知症ケア支援VR～ 当事者と介護者それぞれの目線で認知症を考える	

	講師:大塚製薬 斉藤様・包括職員 ②各区の福祉活動発表	
3月11日	ぴっかり教室 ～男性介護者のつどい～	参加者 5名

2 相談件数（若槻地区高齢者総合相談）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談 件数	143	107	114	141	104	113	138	127	156	92	122	139	1,496

月平均相談件数 125 件

* 令和6年度実績 1,479 件

3 介護予防プラン作成件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
作成 件数	242	242	243	246	242	241	251	251	252	260	259	260	2,989

月平均作成件数 249 件

* 令和6年度実績 2,841 件

4 運営推進会議への出席状況

運営推進会議とは、地域密着型サービス事業者が開催する会議。利用者、利用者の家族、市町村の職員または地域包括支援センター職員、地域住民代表等により構成。施設等の活動状況を報告、評価を受けるとともに、必要な要望・助言等を基に地域に開かれた事業所を目指すものです。

- (1) グループホームしなの 6 回
- (2) グループホームまゆみだ太陽の家 6 回
- (3) 小規模多機能型居宅介護手と手 6 回
- (4) 若槻ホーム別館 6 回
- (5) ケアステーション聖風会ながの 1 回

VIII 苦情対応

1 研修実績

苦情対応システム研修会 主催長野県社会福祉協議会

第三者委員 2名 施設長 2名 出席

2 苦情報告

事業所	苦情の内容	対応
本館 特養	ご家族より 入所者の身体状況や日常生活での課題について説明を受け、今後の対応について様々な提案を受けたが、後になって私たちが責められているような嫌な気持ちになった。	ご家族の思いについて時間をかけて傾聴し気分を害されたことについては謝罪。 提案については、ご本人やご家族を責めるものではないことを再度説明し、納得していただく。
別館 特養	ご家族より 担当者会議にて認知症による食事摂取困難な状況の説明の際に、家族にとってはストレートな伝え方で辛く感じるものがあった。こちらでの状況はわかっているのに、他の方への説明の際も配慮のある伝え方をしてほしい。	担当者会議に出席した職員に家族からの意見を伝え、今後は更にご家族とのコミュニケーションの機会が増えるので、ご家族の感情を推し測りつつ説明を行うようにする。 面会の際に、ご家族の意見を職員間で周知したことで情報の伝え方について再度確認することを報告し了承を得る。
別館 短期 入所	利用者より 私が利用している時に男性職員が気になりゆっくり休むことができない。また、トイレの際に声をかけてくるのが失礼に感じる。私たちのために静養できるようにしてほしい。	男性職員を中心に本人の思いを伝え事実確認も行う。事実と異なる場面があるが、排泄に関しては安全確認の必要もあるので、利用者個別の対応と適切な距離で見守り、介護ができるようにする。 以後、本人からの訴えはない。
通所	ご家族より 本人が歩行器を使用しているが、室内用に行っているため送迎時に屋外では使わない、手引き等で移動の支援をしてほしい。	ご家族からの要望について職員間で周知。送迎時の移動は職員が手引き歩行の介助を行うようにする。また、今後は本人所有の福祉用具の使用状況を確認を行うこととする。
	地域住民 デイサービスの送迎車がいつも狭い道路を通ることが気になっており、今回はすれ違いができず私がバックしてすれ違いをした。わざわざ狭い道路を通らないようにしてほしいし、高齢者を乗せているのでなお安全に運転してほしい。	指摘にあった送迎ルートは利用者の自宅に向うために通行しなければならない場所であることを確認し、連絡をいただいたか方に説明し納得していただく。合わせて、すれ違い等での配慮や安全運航について徹底することを伝える。
包括	地域役員より 地域で開催している体操教室への利用者の紹介方法について、事前の見学や情報提供をしてほしい。	本人の思いを中心に体操教室へ紹介したことは事実であるため、謝罪。 今後の紹介については、事前に担当者の方に情報提供とともに相談を行うように取り決

		める。
	若槻大通り交番より 施設車両が路上駐車されており、住民の駐車に支障があったと通報あり。交通違反とは言えないが、住民の生活に支障があるので、住民には交番から注意する旨を説明しており、今後は駐車場所を注意するように指導あり。	利用者宅訪問等の際は駐車場所に注意し、地域の方の生活に支障がでないように配慮することを、他部署も含めい職員に周知する。
	ご家族より ケアマネが紹介した自費サービス事業者が本人が以前より契約している身元保証・死後事務を請け負う団体と解約するように話を進めている。身元保証・死後事務は今後必要であり契約を継続するので、自費サービス事業者は関わらないようにしてほしい。また、若槻ホームは自費サービス事業者と提携しているのかと不信感を抱かれている。	自費サービス事業者と提携している事実はなく、一般的に介護保険外のサービスとして紹介したことを説明。また、ご家族の了承を得ないままサービス導入したことについて謝罪し、この件に関しては納得される。 ご家族から、自費サービス事業者に今後関わらるように忠告し、ケアマネ側からも連絡を取らないように本人・事業所に連絡する。

(このページは空白ページです)